

愛知県環境情報紙

環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成 28 年 8 月号 (第 243 号)



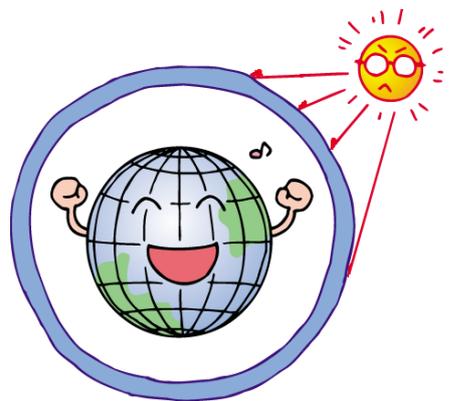
環境情報が満載 P2~6



サスティナ研ニュースの連載が始まります。



サスティナ研ニュース①
~研究所第 2 期がスタート~



9 月はオゾン層保護対策推進月間です
~オゾン層保護推進大会の参加者を募集します~



夏休み環境学習講座を開催しています



海岸漂着物セミナーを開催します

「県庁さわやかエコスタイルキャンペーン」を実施しています (10 月 31 日まで)
軽装・ノーネクタイでの執務について皆様のご理解をお願いいたします



エコアクションを
はじめよう! つづけよう! つなげよう!

<http://aichi-eco.com>



愛知県では、平成26年に「第4次愛知県環境基本計画」を策定し、「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』」を目標として、県民・事業者などのあらゆる主体の高い環境意識を背景に、エコアクションの実践へとつなげる、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」に重点的に取り組むこととしています。

このため、愛知県では、未来の地域の担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、平成27年度から大学生を対象にした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を実施しています。本連載では、研究所の第2期となる今年度の取組を紹介していきます。

1 研究所とは

研究所では、大村愛知県知事を所長として、多くの応募の中から選考された40名の大学生が研究員となり、4名1チームでパートナー企業10社に派遣され、企業から提示された環境に関する研究課題に取り組めます。現場での調査や企業の担当者とのディスカッションを通じて、解決策を検討し、企業側に提案するとともに、その成果を広く発信するものです。



研究所の概要図

2 研究所開所式

7月2日に愛知県本庁舎6階の正庁において、今年度の研究所のスタートとなる開所式を行いました。

開所式では、大村知事、研究員40名、パートナー企業10社が一堂に会し、知事から「環境意識を高め、持続可能な未来のあいちの担い手として大きく成長してほしい」と研究員への激励があったほか、研究員からは「チームメンバーの能力をいかして、パー

トナー企業の環境課題を解決したい」と抱負が述べられました。



研究員を激励する
大村知事



抱負を述べる
研究員

また、各パートナー企業からは研究課題についてプレゼンテーションが行われました。各企業の研究課題の概要は以下のとおりです。

パートナー企業	研究課題
アイシン精機(株)	アイシン精機（自動車部品製造業）の環境取組のPR方法を検討
ソニーグローバルマニュファクチャリング＆オペレーションズ(株)	稲沢・幸田両サイトが連携し、工場が地域と共生する環境取組を検討
中部国際空港(株)	地域で水素社会を実現するために空港島の水素活用ビジョンを検討
東邦ガス(株)	環境に対する意識向上・行動変容に繋がる新たなイベントを検討
(株)ナゴヤキャッスル	ホテルのお客様が体感できる環境配慮商品・サービスを検討
(株)三井住友銀行	環境配慮型モノづくり企業を応援する企画を検討
(株)Mizkan Partners	ミツカンの環境活動を小学生にわかりやすく伝えるプログラムを検討
(株)三菱東京UFJ銀行	当行を利用することで、環境配慮を実感できる新しいサービスを検討
名鉄観光サービス(株)	持続可能な社会に向けて「環境」をテーマとした旅行商品を検討
ユニー(株)	自社の環境配慮商品について、若い世代向けの新たな商品を検討

3 今後の予定

研究員は、7月9日・16日に持続可能な地域づくりについて基本的な考え方を学ぶ「基礎講座」を受講し、その後、8月・9月に各パートナー企業で企業環境活動研究を実施します。次号は、基礎講座以降の研究員の活動の様子を紹介します。

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）〕

9月はオゾン層保護対策推進月間です

1987年9月に「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が採択されたことにちなんで、毎年9月は「オゾン層保護対策推進月間」と定められています。

1 オゾン層とは

地表から10～50km上空の成層圏にある、オゾンが多く存在する大気の層のことをいいます。オゾン層は、太陽から降り注ぐ光のうち生物にとって有害な紫外線の大部分を吸収し、地上を生物が住むことができる環境にしている重要なものです。

このオゾン層が破壊されると、紫外線により人間では皮膚ガンや白内障が増加するなど、生物にとって重大な影響があると言われています。



2 フロンとは

オゾン層を破壊する物質としては、フロンという化学物質があります。フロンは主に冷蔵庫やエアコンの冷媒として使用されてきました。

このフロンや、フロンの代わりに使用されている代替フロンの中には二酸化炭素の数百から数万倍の

温室効果を及ぼすものもあり、オゾン層保護だけでなく、地球温暖化防止の観点からもフロン類の適切な処理が求められています。このため、冷蔵庫やエアコンを廃棄する時には、適正にフロン類が処理されるよう、販売店やフロン類充填回収業者を通して廃棄してください。

3 冷凍空調機器の管理者の義務

平成27年4月に施行されたフロン排出抑制法では、全ての業務用の冷凍空調機器について3か月に一度、簡易点検を行うことが義務づけられました。さらに、定格出力が7.5kw以上の機器については、専門業者による定期点検も義務づけられています。家庭用の冷蔵庫やエアコンについては、法律で点検が義務づけられているわけではありませんが、使用中の冷蔵庫やエアコンから異音がする、冷えなくなったなど、普段と異なる症状がみられる場合にはフロン類が漏れいしているおそれがありますので、早めに専門業者に点検、修理を依頼してください。

〔 大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン) 〕

オゾン層保護推進大会の参加者を募集します

愛知県では、オゾン層保護対策推進月間の9月の取組として、金山駅での街頭キャンペーンや大型ビジョンでの広報等を行い、フロン類の排出抑制を啓発するとともに、**オゾン層保護推進大会**を開催します。県民の皆さんの参加をお待ちしています。

1 開催日時 9月5日(月) 14:00～16:10

2 開催場所

フジコミュニティセンター4階 大会議室
(旧愛鉄連厚生年金基金会館)
名古屋市中村区黄金通一丁目18
(地下鉄桜通線「中村区役所」下車が便利です。)

3 内容

- (1) 愛知県におけるフロン類の排出抑制の取組について
- (2) フロン排出抑制法について



(3) 講演

「パリ協定を踏まえたフロン類を含む温室効果ガスに係る取組について (仮題)」

講師: 名古屋大学 大学院環境学研究科

高村 ゆかり 教授

4 定員 180名 (申込先着順)

5 申込方法

- ① 題名: 「オゾン層保護推進大会申込み」
- ② 会社名: (団体名)・氏名
- ③ 連絡先: 電話番号、FAX番号

を記載の上、8月26日(金)までに大気環境課あて
Eメール: taiki@pref.aichi.lg.jp 又は
FAX: 052-953-5716 でお申し込みください。

6 その他: 参加費は無料です。

〔 大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン) 〕

東三河海岸漂着物学習セミナーを開催します！

愛知県では、海岸漂着物を課題とする環境学習を実施するため、平成25年度に「知る・考える・行動する」をコンセプトとした環境学習プログラムを作成しました。

平成26年度から県内3か所の海岸などで県民の皆さんに楽しみながら海岸漂着物の現状や影響、対策について学んでいただく海岸漂着物学習セミナーを実施しており、平成27年度には274名の参加をいただきました。



漂着物を利用したモビールづくりの様子

今年度も県内3箇所で開催することとし、そのひとつとして豊橋市吉前町・神野新田町にある豊橋海岸吉前・神野新田地区及び豊橋市総合体育館で「東三河海岸漂着物学習セミナー」を開催します。

海岸に落ちている漂着物を使ってビンゴゲームを楽しむ講座と、漂着物を材料にモビールづくりを楽しむ講座の計2講座を開催します。

参加費は無料ですが、事前の申込が必要です。

1 日程

A：ビンゴゲームを楽しむ講座

(小学校中・高学年向け)

8月27日(土) 9:15～12:00

B：モビールづくりを楽しむ講座

(中学生以上向け)

8月27日(土) 13:00～16:00

2 集合場所と集合時間

＜無料送迎バスご利用の方＞

集合場所：豊橋駅西口

集合時間：8:30

＜自家用車の方＞

集合場所：豊橋市総合体育館第一会議室

豊橋市神野新田町字メノ割1-3

集合時間：各講座開始時間10分前までに

3 開催場所

豊橋海岸吉前・神野新田地区、豊橋市総合体育館

4 定員

各講座50名

5 申込方法

以下の内容を記載して、

Eメール、はがき又はFAXでお申し込みください。

＜記載内容＞

①参加したい講座名（A又はB）

②代表者の住所、氏名、年齢、性別、電話番号

③参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、性別

（傷害保険加入のため、開催日当日の年齢をご記入ください。）

6 申込期間

7月25日(月)～8月12日(金) ＜必着＞

7 申込先

名鉄観光サービス(株)岡崎支店

海岸漂着物学習セミナー係

〒444-0860 岡崎市明大寺本町3-17角金ビル

Eメール：okazaki@mwt.co.jp

FAX：0564-21-8448

8 問合せ先

愛知県東三河総局県民環境部環境保全課

廃棄物対策グループ

〒440-8515 豊橋市八町通5-4（東三河県庁）

電話：0532-35-6114, 6115

9 その他

このセミナーは参加者の中から抽選で記念品がもらえるAELネット環境学習スタンプラリーの対象講座です。スタンプラリーの詳細はWebページをご覧ください。

http://aichi-eco.com/ael_stamprally

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン) 〕



夏休み環境学習講座を開催しています

愛知県では、小学生以上を対象に、生きものに実際に触ったり、実験をしたりして、体験しながら環境について楽しく知ることができる「夏休み環境学習講座」を開催しています。

参加費は無料です。先着順で予約を受け付けていますので、空き状況については、お気軽にお問い合わせください。

<日程> 次表のとおり

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/h28natuyasumi.html>)

(1) もりの学舎^{まなびや}(愛・地球博記念公園内)で開催

日時	講座名(講師)	定員
8月5日(金) 13:30~15:30	チョウの標本をつくろう (講師:高橋 匡司)	15名
8月10日(水) 13:30~15:30	りきさんの「森のお茶会」 (講師:勢力 愛子)	20名

(2) あいち環境学習プラザ(愛知県東大手庁舎内)で開催

日時	講座名(講師)	定員
8月2日(火) 10:00~12:00	りきさんの「森の万華鏡をつくろう!」 (講師:勢力 愛子)	20名
8月18日(木) 10:00~12:00	チョコレートの来た道 (講師:名古屋をフェアートレード・タウンにしよう会 土井 ゆきこ)	20名
8月18日(木) 13:30~15:30	「はっぱ」を探ろう (講師:高島 裕美子)	20名

※講座は、天候などにより内容変更や中止になることがあります。



りきさんの「森の万華鏡をつくろう!」
(過去の講座の様子)

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)



連載

「愛知県の地球温暖化対策紹介」(3)

◎小学校向け出前授業「ストップ温暖化教室」

愛知県では、「あいちエコチャレンジ 21」県民運動の一つとして、平成 19 年度から地球温暖化防止及びエコライフの実践の普及啓発を図ることを目的とした「ストップ温暖化教室」を、県内小学校等で実施おり、これまで延べ 6 万名の小学生が参加しました。今年度は県内 36 市町の延べ 71 校、約 5 千名の小学生を対象に実施しています。

1 講座の内容

小学校高学年向けの教室は、「くらしと電気と温暖化」をテーマに、実験を通じ、家庭における省エネなどの大切さを学び、自分でできることから取り組むことを狙いとしています。

小学校中学年向けの教室は、クイズやワークショップを通して、楽しみながら温暖化について学び、日常生活でできることを考え、実践することを狙いとしています。

2 講師

県の委嘱した地球温暖化防止活動推進員(平成 28 年 7 月現在、140 名)が小学校に訪問して、地球温暖化対策等をわかりやすく解説します。

3 追加募集

平成 29 年 2 月 28 日(火)までの出前授業の実施希望校を募集しています。詳細は地球温暖化対策室までお問い合わせください。



小学校高学年向けストップ温暖化教室(昨年の様子)

大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)



～名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」～



「エコパルなごや」エントランス

「エコパルなごや」は、身近な環境から地球環境まで、楽しみながら幅広い視野で環境問題を考え、取り組んでいくための第一歩となる環境学習の拠点です。

バーチャルスタジオやワークショップなどの楽しい参加型学習が出来るコーナーと、詳しくてわかりやすい環境情報が盛りだくさんの展示室、そして何よりも館内スタッフと対話しながら「環境にやさしい行動へのきっかけ」を学ぶことができます。

<環境学習プログラムの概要>

1 バーチャルスタジオ

まるで本物のテレビスタジオの中で、楽しいテレビ番組の回答者になったように、インタープリターのコパ(※)と対話しながら、自然の営みやごみ、エネルギー問題等について学習することができます。



バーチャルスタジオ

※「インタープリター」とは、説明者や通訳のことを言います。ここでは、マスコットキャラクターのコパが通訳となって、地球環境問題や名古屋市の環境についてわかりやすく説明します。

2 ワークショップ

料理で使い終わった油で石けんを作ったり、アルミ缶で小物入れを作るなど、エコクラフトや実験を通じて、楽しく体験学習ができます。



廃油石けんづくり



アルミ CAN-CAN

【体験方法】

平日に限り、10名以上より電話にて予約を受付します(土日祝日や夏休み、冬休み、春休み期間中は、予約不要。Web ページの「予約状況・土日祝日の予定」から時間と内容を確認してご来館ください。)

<施設情報>

開館時間：9:30～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌平日）、
年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：無料

住所：名古屋市中区1-23-13 伏見ライフプラザ13階

電話：052-223-1066 FAX：052-223-4199

Eメール：a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

Web ページ：http://www.kankyo-net.

city.nagoya.jp/ecopal/

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)



愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成28年8月1日発行(第243号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

毎日の厳しい暑さを省エネで乗り切る方法の一つに、「クールシェア」があります。図書館やカフェ等を利用し、個人個人のエアコンの使用を控えることを指します。

例えば、家庭でエアコンを使用する時は、リビングだけにして家族みんなで集まることも立派なクールシェアです。家族の団らのひと時にもなりますので、ぜひ実践してみてくださいね。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。